

「春節と餃子」のお話

～第2回友の会カフェ～

人力資源和社会保障部国際交流服務中心 駐日代表 楊賦臻

1. 餃子のこと

中国春節の過ごし方を紹介する前に、餃子について少し触れてみたいと思います。皆さんがご存知のように、中国の北方地域で何かめでたいことや祝日の時、水餃子を食べる食伝統があります。さらに「餃子より美味しいものはない」という諺まであります。餃子の中国語の発音は「交子ジョーズ」の発音によく似ています。それは新年と旧年の取り替え、交代の意味が含まれています。また、餃子の形は、みなさんよく見ればすぐお分かりだと思いますが、昔のお金、清の時代から使われた馬蹄形の銀塊によく似ています。要するに、餃子を作ることにより、富みや幸運を包み、食べることで裕福になる、金持ちになるという説があります。中国の家庭では大晦日の夕食に家族そろって餃子を作るのが一般的です。その時、興を添えるため、餃子の餡の中に小さなコインや飴玉を入れます。それを食べた人は、これからやってくる一年がラッキーだと言われています。

また、結婚の時、新郎新婦に棗や落花生を入れた餃子を食べてもらいます。棗の発音は早いと同じ、落花生は生むという発音があるので、早く多く子供が生まれるようとの願いがあるのです。

餃子と言えば、北方人にとって、特に貧しい時代を経ってしまった人々にとって、いろいろな記憶があります。例えば、僕自身のことと言えば、子供の時、餃子を簡単にいつも食べられませんでした。一年のうちで、大抵、端午節、中秋節、春節しか食べられませんでした。春節になると、大晦日、元日、五日、一週間間に、三回ほど食べられます。美味しい餃子を食べたくて、「春節よ、早く来い」と願いながら、楽しく待っていたという子供の頃が懐かしいです。

今は昔と違いまして、餃子の種類も味も豊富です。各世代は自分の好みにより、様々な餃子の種類が開発されました。面白いのはトマトやスイカの皮、野生の野菜で餃子を作ることです。

今日は、自分の家でよく作る2種類の餃子を用意しました。一つは、精肉 生肉の餡、主に白菜や豚ひき肉、作りかたはレシピの書いてあるように、誰でも簡単に作れますので、やってみてください。もう一つは、豚肉の角煮、煮込んで熟したお肉や新鮮ななら、卵、エビなどを使って作る。その他、魚介類、蟹などの海鮮を使って海鮮餃子を作ることができます。

2. 春節の過ごし方

次は、春節の過ごし方についてちょっとご紹介したいと思います。ご出席の皆様は中国通ですから、釈迦に説法で恐れ入りますが、北京、天津、河北地域の春節の過ごし方につ

いてお話ししたいと思います。春節を過ごすキーワードは大抵、喜び、一家団欒、春を迎え、福をいただく、親しい気分を味わう、ということです。旧暦の12月に入ると、春節の準備が始まります。主に食べ物の準備、新しい服の購入、爆竹の準備、大掃除などを行います。春節の時、外で働く人たちが自分の故郷、実家に帰ります。家族集合ということで、食べ物をたくさん用意しなければなりません。それから、子供たちやお年寄の人に新しい服を準備したりするのが一般的です。わたしは子供のとき、新しい服を着るのが一年中、春節の時だけでした。もう一つは爆竹の準備です。大きな楽しい事ですから、買ったり自分で作ったりして、すごく頭を使うんです。今、中国の大気汚染で、爆竹を厳しく制約していますが、それでも農村でその風習が根強く残っています。春節の前に大掃除をすることも伝統的な習慣です。毎年、春節が近づくと、どこの家でも大掃除を行います。古いものを片付け、新たにしておいて、すべての不祥事、不運を一掃していくという願いからでしょう。

今の中国の春節の過ごし方は昔と比べると、春節の匂いがますます薄くなったと言われています。特に若者にとっては自分なりにオリジナルの過ごし方をするのが流行ってきました。例えば、春節休みを利用して国内旅行、海外旅行へ行ったり、映画やドラマを見たりする人が年々増えてきています。

春節は大晦日から旧暦の一月六日まで、丸々一週間です。大晦日に家族みんなそろって年越しをします。夕食はもちろん“大晦日餃子”です。30年前から、中国では大晦日の夜に、CCTVが日本の紅白歌合戦に似た春節を祝う国民的年越し番組を作りました。漫才やコント、雑技、歌、舞踊などの出し物を楽しむことができます。大晦日の夜八時から12時半まで生放送します。ほとんどの世代が大晦日にこの番組を鑑賞します。ここ数年、この年越し番組は昔ほど人気がないものの、今年でも7億人が見たとの報道がありました。

元日は、まず初めに、爆竹を鳴らし、爆竹の音で旧年を送り新年を迎えます。この日、若い者は目上の方に新年のあいさつをし、年長者は若い者にお年玉をあげます。挨拶まわりは、春節の重要な行事の一つです。年が明けると、早起きをして正装をして、友達や親戚の家を互いに訪問します。外出先では笑顔で「過年好、あけましておめでとうございます。」と挨拶します。隣人や友人たちも挨拶に来て、みんなで歓談をしたりお酒を飲んだりして、楽しく過ごします。

旧暦の一月一日に嫁いだ娘は実家に帰ってはいけないという習慣があるのですが、今の時代になって、一人っ子の夫婦は誰の実家に帰るかについてよく喧嘩して、ひどい場合は離婚までエスカレートするケースもあるらしいです。この問題を解決するため、双方の両親を集めてどこかで一緒に過ごすケースが多くなったようです。北京天津あたりは旧暦の二日に奥さんの実家へ帰るのが普通です。ただ奥さんの両親のどちらかが亡くなった場合は、翌日の三日に帰ります。

日本でも「三が日」があるように、中国春節は旧暦の五日を過ごす習慣があります。中国の発音で「破五 ポーウ」という。つまり、昔は元日から五日まで、女性は炊事をしない、掃除をしない、針を持たない、女性は出歩かないなどさまざまな禁忌がありました。この日まで、お正月に関する禁忌をすべて「破棄」するのです。この日は、「破五」をお祝いして大晦日と同様に餃子を食べます。「破五」が過ぎると、お正月ムードも一段落でほっと一息です。

以上、おおざっぱに中国北方の春節の過ごし方を紹介いたしました。時代の変化に伴って、中国人の春節の過ごし方がだいぶ変わりました。伝統的な春節の習慣を守るのが都会より田舎、若者より年寄、国内より海外とされています。

このような紹介により、みなさんの中国の春節に対する理解を少しでも深めていただければと思います。以上です。